

平成30年度第1回健康寿命日本一おおいた創造会議 ～日本健康会議in大分～（平成30年8月23日開催）

議事(1)今年度の取組

【みんなで延ばそう健康寿命推進月間の取組】

10月を「みんなで伸ばそう健康寿命」推進月間と位置づけ、推進月間を含む9月から11月の3カ月間に創造会議の構成団体やおうえん企業、市町村などのさまざまな主体が健康づくりイベントを企画・実施する計画で今年度は15万人の参加者を目標にしている。

【創造会議構成団体の取組】

(大分県医師会) 歯科医師会、薬剤師会、栄養士会と連携した「健康寿命日本一おおいた県民公開講座」、「歩こうデー」、糖尿病による重大な合併症に関する講演会等を実施している。

(ツーリズムおおいた)今年5月開催の「世界温泉地サミット」における、温泉の活用は「クア（療養）からウェルネス（健康・美容）に拡大しているということに注目すべきである」という議論を踏まえ、温泉を健康増進に利用することは、健康寿命の延伸に大きく貢献することが期待される。

(大分県栄養士会)食を通じてラグビーワールドカップ2019の気運醸成を図るために、来県国のレシピの作成、料理教室の開催をしている。栄養ワンダーを開催し、現代日本の栄養問題の解決について施設利用者や住民に説明・指導している。

(大分県市町村保健活動研究協議会)健康寿命日本一おうえん企業と市町村保健活動が連携することにより、保健指導の内容や対象など健康づくりの裾野が広がってきた。

【おうえん企業の取組】

(大分県信用組合)国民健康保険の特定健診受診率を高め、病気の早期発見・早期治療を目的として市町村国保等との共同で「健康定期」を開発した。この資金を県民の健康寿命延伸に活用するため「健康寿命日本一おうえん融資ファンド」を設立し、資金が循環する仕組みを創造した。

(東京海上日動火災保険株式会社)健康経営とは「社員と家族の心身の健康を大切にするマネジメント」と定義。健康経営関連セミナーの開催、健康づくり健康チームの立ち上げ、「おおいた歩得」について全社員ダウンロード推進とともに事業所対抗戦に参加している。がん患者を支援する「リレーフォーライフ」への参加、がん検診受診率向上のためのピンクリボン運動への参画も推進している。

(株式会社紀伊國屋書店)「健康寿命日本一おおいた推進フォーラム」の告知を兼ねて、講師の田中尚喜先生の著書2点を講演会の申込書と一緒にレジ周りに並べて展開している。こうすることにより、日々の売り上げが以前の倍以上になっている。運動や食事での健康増進に関する本をたくさん置いているので、県民のみなさんがそのような本と出会う場になりたい。

(カゴメ株式会社)産学官連携で、大分商業高校の生徒による大分県産野菜とカゴメ商品を使用した「おいしく手軽に野菜が取れる手作りスムージー」コンテストを実施し、量販店での試飲販売を予定している。第13回食育推進全国大会と連動した食育劇「カゴメ劇場」は「まず野菜、もっと野菜」の裾野を広げる活動となった。

【「まず野菜、もっと野菜」プロジェクトの取組】

若い世代、特に女性の野菜摂取が少ないことから、こうした世代が野菜を食べたくなるような環境整備を進めるため、スーパー・コンビニ・JAなどで構成する野菜部会を設置した。ロゴマーク、売り場に掲示するスイングPOP、野菜を使ったレシピ、動画などを作成し、SNSなどを通じて野菜の摂取を促す啓発を進めている。